



あなたが
選ぶ

年間大賞!

投票受付中

紀尾井ホール 20周年を記念して発行した「特別かわら版」の人気コーナー、「紀尾井流 私の十七文字」に掲載された俳句・川柳の中から年間大賞を選びます。お気に入りの一句を投票して下さい。

俳句

- 1 外濠の花も寿ぐ二十年
- 2 花二つ調べ雅に二十年
- 3 街路樹のひと雨ごとの緑かな
- 4 津波去り日がな無言の海女二人
- 5 長唄の恩師逝かれり秋彼岸
- 6 春耕にいのちの光り鋤き込みぬ
- 7 乗り込んで唄のでて来る汐千舟
- 8 「お疲れ」と遠足の子の土不踏つちふまず
- 9 緑蔭に母の指揮下で昼餉の座
- 10 帰り道とんぼにかるく会釈せり
- 11 病む母に静かに贈るうちわ風
- 12 酒造所の大煙突や夏つばめ
- 13 新そばと墨書小さき店選ぶ
- 14 縁側に父のしわぶき柿すだれ
- 15 恐竜展出でて真向かふ秋の風
- 16 書き込みの文字懐かしき曝書かな
- 17 天高し埴輪の貌のあけらかん
- 18 引かれた手引いて介護の落ち葉踏む
- 19 大津絵の鬼が牙むく小春かな
- 20 ひらひらと葉にへんげ落ち葉かな
- 21 片息を白く染めゆく寒稽古
- 22 冬麗や猫うつくしき眼をしたり
- 23 かりがねのしづかに遠く月ひとつ

川柳

- 1 10時打ち取れますようにと十字切る
- 2 靴底に今日の未練がへばりつく
- 3 舟を漕ぐ媪ありけり春の海
- 4 ここだけよここだけの話花の下
- 5 子供歌舞伎少し揺らいで見得を切り
- 6 通学路かがめば古き友の声
- 7 ゼンマイを巻けば昭和が語り出す
- 8 毎日が幸と不幸の繰り返し
- 9 送られた野菜の箱に親の顔
- 10 木鐸も鳴らし過ぎると喧しい
- 11 五年間二十歳で通すうちの姉
- 12 坊さんが拾うは医者 of 投げた匙
- 13 葬式に行くの飽きたら逝くことに
- 14 ひたむきに生きた証拠の低い腰
- 15 入れ過ぎて隠しきれない隠し味

投票締切 5月16日(月)

紀尾井友の会 会報誌『紀尾井だより』7・8月号から「紀尾井流 私の十七文字」がレギュラーコーナーになります! 応募方法などの詳細は、紀尾井だより・紀尾井ホールのホームページでご案内致します(6月頃を予定)。皆さまのご応募をお待ちしております。

あなたが最も気に入った俳句・川柳の番号を、それぞれひとつ選びご記入下さい

俳句 番

川柳 番

ご投票は、この用紙をFAX・ご郵送いただくか、下記のメールアドレスまでお送り下さい。大賞は7月1日発行「紀尾井だより」7・8月号および紀尾井ホール ホームページで発表致します。

宛先 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 6 番 5 号 紀尾井ホール「紀尾井だより」係

FAX:03-5276-4527 Email:haiku17@kioi-hall.or.jp